

近畿中国局フォレスターNEWS

県 フォレスターと連携した活動



県・市担当者との打合せ



民有林皆伐箇所での現地検討

広島北部森林管理署では、今年度計画を樹立する江の川上流森林計画区内の三次市森林整備計画策定について、広島県のフォレスター等と連携して支援するため、6月4日に県・三次市の担当者との打合せと民有林での現地検討を行いました。

県からは、計画樹立に向けての重点課題や、今年度から国有林フォレスターとも連携して、地域の森林のあり方を検討する旨の説明がありました。

国有林からは、県・三次市へ国有林のゾーニング図面、施業実施計画図面等の資料の提供を行うとともに、昨年度から実施している低コスト林業の推進等について、取組状況を説明しました。

その後、民有林で民家近隣の皆伐が行われた箇所を視察し、森林作業道の排水等の工夫による崩落防止対策等について意見交換を行いました。

今後も森林計画関係市町村担当者会議（県主催）への出席や、市森林整備計画策定支援に向けて県・関係市との打合せを実施していく予定です。

今回の現地検討を通じて、民有林については森林所有者の意向等もあるため、状況に応じた適切な方策の選択など技術支援の難しさを感じました。

民 国連携した現地学習会の開催

三重森林管理署では、民国連携した大台町（三重県多気郡）森林整備計画の実行支援として、共通の課題であるシカ被害対策のための森林施業の取組状況等について、6月17日に町内の民有林などで現地学習会を開催しました。

学習会には県市町職員、林業指導普及員、林業関係者等50名余りの参加があり、宮川森林組合（大台町）の説明により、町内の広葉樹苗畑、群状伐採後の広葉樹植栽箇所（パッチディフェンス設置）等の視察を行い、森林の立地環境を的確に把握し、森林の多面的機能を高める取組みの重要性について学びました。

地域課題の解決のためには、同地域で活動するフォレスターが連携して取り組むことが重要であるため、国有林では今後も民有林フォレスターと連携し、勉強会の企画・立案や実施、相互の研修会・検討会への積極的な参加を通じ、民国の所管を越え、施業方法やその問題点、課題などについて様々な情報交換を行っていく予定です。



群状伐採箇所（広葉樹植栽とパッチディフェンス設置）

林野庁
近畿中国森林管理局
技術普及課



国民の森林・国有林

TEL: 06-6881-3524 FAX: 06-6881-2055
URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

先月号までは、室内での意見交換や検討会の記事でしたが、今月号では民有林の現地における検討会や学習会の内容を紹介しました。

国有林では、各種技術開発にも取り組んでおり、今後も引き続き人材育成のためのフィールド、技術力の提供に取り組んで行くこととしています。